

# 被爆67年



# 核兵器なくせ 原発なくせ!

8月6日広島、9日長崎にアメリカの原爆が投下されて67年がたちます。

原爆の爆風と熱線、放射線は一瞬のうちに関市を壊滅させ、広島市では14万人以上、長崎市では7万3千人以上の命を奪いました。助かった人々も原爆症で苦しみ、毎年少なくとも1万人がなくなっています。

しかし、世界には2万発の核兵器が今もなお、人類の生存を脅かしています。この脅威を一刻も早く根絶しなければなりません。

## 国政揺るがす 国民的運動に

今、世界では、自由と尊厳を求め、貧困と格差の拡大に反対し、戦争と染料の終結を求めて世界の多くの人々が立ち上がっています。

日本においても、福島第一原発事故を契機に広範な市民が原発ゼロを求めて立ち上がり、かつてない規模の行動は、国会周辺だけでなく京都をはじめ全国で共鳴し共同の運動へと発展、国政を揺るがすまじなっています。

まさに、市民の行動が国を変え、世界を動かしているのです。今求められているのは、「原発なくせ」「核兵器全面禁止」の世論を大きく広げることが必要です。



京都でも行動できます

関西電力京都支店前のイエロースタンドイングアピールにあなたも

毎週金曜日：午後5時～7時 参加できる時間においでください。

8月31日（金）関西電力京都支店包囲大行動4時～アピール 6時から包囲行動



オスプレイ：沖縄普天間基地に配備されているCH46中型輸送ヘリの後継機。垂直離陸もでき、豊富な輸送力と飛行能力を持ち、多様な軍事作戦に対応するために開発された「殴りこみ部隊」の軍用機です。これまでに50回以上、この1年の間に2回の事故を起こし、ベテランパイロットが犠牲になるなど、安全性に疑問符がついています。

# 危険なオスプレイ配備は撤回を

## 許せません 全国で低空飛行訓練

### オール沖縄で 配備反対

今、沖縄普天間基地へのオスプレイ配備が、沖縄はもとより全国で大きな問題となっています。

野田政権は何のためらいもなくアメリカの言うことを右から左に通そうとしていきます。しかし、配備される普天間基地は、周りに住宅や公共施設などが密集し、世界一危険な基地です。安全性に疑問があるオスプレイの配備は論外なのです。

### 全国知事会も配備反対の決議

沖縄ではオール沖縄で配備に反対する大規模集会が予定されています。また、中継配備の岩国でも自治体上げでの反対の声が広がっています。全国知事会も7月19日、全会一致で配備反対の決議を上げました。

### 全国7ルートで危険な低空飛行訓練

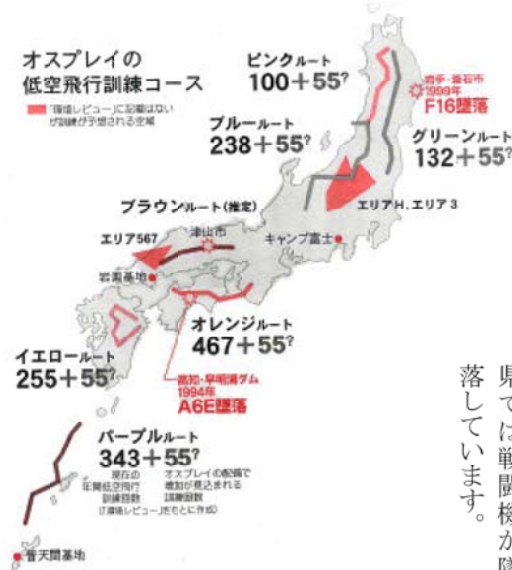
これまでも米軍が全国で昼夜を問わず低空飛行訓練をし、事故を起こしていますが、今回はじめて公式に低空訓練のコースが明らかになりました。6ルートは沖縄、九州、四国・紀伊半島、東北・北陸3コースで、これ以外にも中国山地も可能性があることを米

### 米軍史上異例の欠陥機

野田政権は「抑止力」維持のためにオスプレイ配備は必要だと言っています。しかし、オスプレイが配備される普天間基地の海兵隊は、1年の半分以上、アジア太平洋、中東まで出撃し、「地球規模の殴りこみ部隊」です。日本の防衛とは無縁の存在です。

焦点は安全性。米軍史上異例の欠陥機と言われています。二つのエンジンが故障したときに安全に着陸できないという問題です。

日本政府はエンジンが停止しても滑空するか、ヘリコプターモードの時にオートローテーション(自動回転)で着陸できるとしていました。しかし、後者の機能は、オスプレイにはないことが明らかになっています。(自動回転とは、降下の際に生じる空気の流れでプロペラが回り安全着陸できる機能のこと)



軍が認めています。これまで6ルートでは、年間100〜467回、

合計で1500回以上の訓練が実施され、高知県と岩手県では戦闘機が墜落しています。